

【保健環境研究センター10月だより②】

～ノロウイルスに注意して!!～

●ノロウイルスは、冬季に多く発生がみられるウイルス性胃腸炎の主な原因ウイルスで、記憶に新しいところでは2006年に大きな流行がありました（図1）。

●ノロウイルスは食中毒の原因ウイルスとして知られており、加熱不十分な二枚貝やウイルスに汚染された食品の喫食により引き起こされます。当センターではノロウイルスを検出した食中毒事例が2006年の最盛期には6～9事例/月ありましたが、関係者の意識向上が図られたこともあってか、その後は0～2事例/月と低く推移しています（図2）。

●また、ノロウイルスは経口感染によりヒトの小腸で増殖し、吐物や糞便とともに排泄され、手指等を介してヒトからヒトへ感染します。昨シーズンは集団感染事例28事例からノロウイルスが検出され（図2）、依然として集団生活の場での感染防除が公衆衛生上の重要な課題となっています。

●当センターのこれまでの検査結果から、直近3シーズンの流行の始まりは11月に入ってからであったと考えられます（図2）。そろそろ、ノロウイルスに注意が必要な季節になったと考えられるのではないのでしょうか？手洗いなど感染予防に努めて、今後の本格的な流行に備えましょう。

●最後になりましたが、ノロウイルスの流行予測には平時の監視が重要です。病原体定点医療機関の先生方には、引き続き検体採取のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

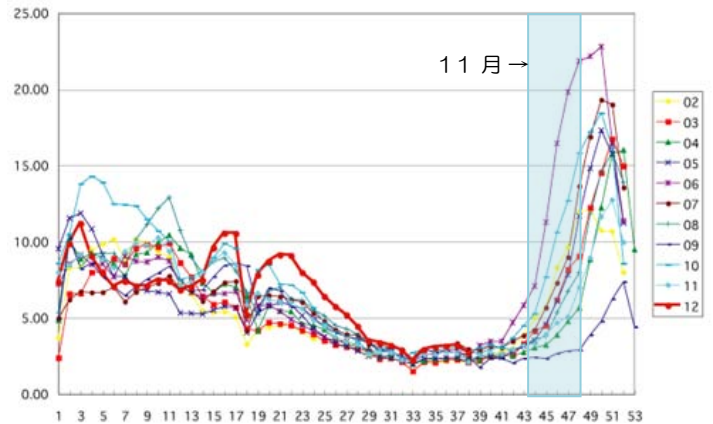


図1 全国の定点当たり感染性胃腸炎患者報告数 IDWR 過去10年との比較グラフ(週報)(38週現在)より

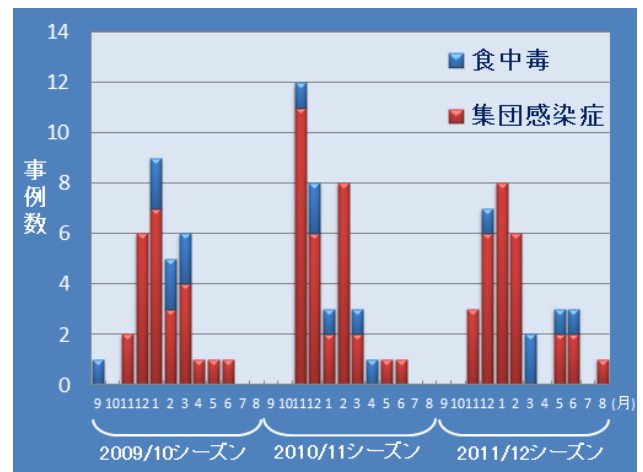


図2 ノロウイルス月別陽性事例数(当センター検出分) (2009年9月～2012年8月)

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

〈厚生労働省ホームページ〉ノロウイルスに関するQ & A

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

〈国立感染症研究所感染症情報センターホームページ〉

ノロウイルス感染症とその対応・予防(家庭等一般の方々へ)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>

ノロウイルス感染症とその対応・予防(医療従事者・施設スタッフ用)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>

(ウイルスチーム 米田 記)